令和７年９月２２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－１

令和６年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【日吉町
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	４事業
事業費総額 （決算時）	２，１９１，４０６円
交付金決定額	９２１，０００円
（うち加算額）	（０円）
交付金決算額	９２１，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ１７
・事後評価調書　Ｐ１８～Ｐ２１
・参考写真
（令和６年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ２２～Ｐ２５

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和７年４月　２３日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市日吉町４０９３番地の２
名称：日吉町まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　小栗　正敏　　㊞

夢づくり地域交付金実績報告書

令和６年５月１日付瑞浪市指令第４４号の６で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
１．特産品開発事業
２．日吉町活性化事業
３．まちづくり情報発信事業
４．教育文化事業
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

特産品開発事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

平成２１年度より特産品開発に取り組み、栽培した原木椎茸を定期的に「きなぁた瑞浪」等へ出荷する。また、ふるさと納税の返礼品として全国へ日吉町の特産品としてのＰＲに努める。現在のほだ木の保有数は約６，０００本、年々ほだ木の確保が難しくなってきているが、令和６年度も６００本のほだ木を確保し、引き続き安定した出荷を目指す。ほだ場の整備として、ほだ木を立てかけるための単管パイプを設置する。 また、今年度移転を行う『天狗の台所』を活かし、中部大学等と連携して、椎茸、その他の農産物を使用した加工品の開発を目指す。さらに、これまで以上に多くの方に加工所の利用していただけるようにＰＲする。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

椎茸収穫量　　年間　　約３５０kg 加工商品化　　年間　　約　３０kg（５５ｇ×５５０袋） 日吉町の特産品としてのＰＲに努める 加工製品(乾燥野菜、乾燥果物、粉末商品等）の商品開発に取り組む ふるさと納税返礼品　１０件

４　事業に要する経費（総事業費）

880,000　　円

５　交付金申請額

211,000　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

特産品開発事業

２　活動報告（活動内容等）

平成２１年度より特産品開発として取り組んでいる椎茸の原木栽培は１６年目を迎え、「きなぁた瑞浪」にも出荷しています。イベントなどでも販売し町内外へ日吉町の特産品としてＰＲすることができました。
今回も６００本のほだ木を確保し植菌する予定でしたが、天狗の台所移転に伴い、上水取出し工事を行うことになったため、余儀なく実施することができませんでした。
農産物を使用した新たな加工品の開発のため、中部大学との域学連携では『ふりかけレシピコンテスト』を開催し、１３チームの応募があり審査の結果、グランプリ、準グランプリが決定しました。ステップアップ事業にて『天狗の台所』移転完成式典では、来賓の方々にグランプリ・準グランプリのふりかけの試食をしていただくことができました。栄養価の面でも優れたふりかけレシピのアイデアを元に、今後の特産品開発の参考にしていきます。また、引続き６次産業化を目指し、椎茸生産、乾燥加工した農産物ドライフルーツ、ジャムなど加工品の開発を目指し、広く地域に呼びかけて普及に努めていきます。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

原木の確保（購入及び菌打ち）中止（600本）　　（　　）目標数
まちづくりほだ木所有数＝約5,800本
椎茸（生）収穫実績＝304kg（350kg）　椎茸加工（乾燥）＝24kg（30kg）
農産物加工所利用料＝28件　63,600円
きなぁた売上＝269,990円　その他売上＝137,880円

４　事業に要した経費（総事業費）

1,365,836　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

327,200　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	椎茸収穫開始（春分） 天狗の台所一般利用（通年） 乾燥しいたけ販売（通年） きなぁた瑞浪への出荷 しいたけ乾燥（通年）	委託料 備品費 消耗品費 手数料等 消耗品費 光熱水費	50,000 2,460 29,820 43,115 425 226,411
５月	椎茸ほだ木管理(通年)	委託料 使用料等	100,000 20,000
６月	本伏せ作業	消耗品費 食料費	17,640 2,924
７月	天狗の台所　特産品開発	消耗品費 食料費	3,780 321
８月			
９月			
１０月			
１１月	椎茸収穫開始（秋分） 粉砕機デモ機利用	 通信費等	 3,330
１２月	ふりかけレシピコンテスト	報償費 旅費 通信費等	16,120 1,120 870
1月			
２月	天狗の台所移転（上水取出し工事）	工事費	847,500
３月			
合計			1,365,836

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	211,000	327,200	
自主財源	169,000	630,766	
その他（しいたけ売上）	500,000	407,870	
合　　計	880,000	1,365,836	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
原木購入経費	原木、菌購入	消耗品費	300,000	0	
		手数料等	0	0	
		保険料	0	0	
		小計	300,000	0	
植菌作業経費	植菌作業 菌の購入	消耗品費	70,000	0	
		食料費	30,000	0	
		小計	100,000	0	
管理経費	ほだ木の管理	委託料	120,000	100,000	
		使用料等		20,000	
	加工所経費	委託料	50,000	50,000	
		小計	170,000	170,000	
天狗の台所	備品	備品費	60,000	2,460	
	粉砕機（デモ機）	通信費等		3,330	
	移転水道工事	工事費		847,500	
		小計	60,000	853,290	
本伏せ経費	本伏せ経費	消耗品費	115,000	17,640	
		食料費	5,000	2,924	
		小計	120,000	20,564	
販売経費	きなぁた瑞浪手数料	手数料等	55,000	43,115	
	きなぁた瑞浪ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	消耗品費	5,000	425	
	販売用	消耗品費	30,000	29,820	
	しいたけ乾燥	光熱水費		226,411	
		小計	90,000	299,771	
特産品開発経費	特産品開発	消耗品費	40,000	4,101	
		報償費		16,120	
		賄材料費		870	
		旅費		1,120	
		小計	40,000	22,211	
合　　計			880,000	1,365,836	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

日吉町活性化事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

天神窯周辺は、マレットゴルフ場・天神窯・天狗塚・弁財天の池など自然環境を生かしながら整備を行い、来訪者数の増加を図る。また、平成２８年度に建設した天神窯東屋（バーベキュー施設）とマレットゴルフ場の連携を図り自然を活かした体験エリアとして積極的にＰＲを行う。

また、天神窯春まつり・日吉町夏祭り・文化祭・中山道往来では、中学生、小学生高学年ボランティアに参加してもらい、幅広い年齢層の町民がふれあえる機会を増やす。

にじいろファーム（日吉幼児園・日吉小学校・ＪＡ日吉支店との合同事業）でのさつまいも植付け・収穫体験を通して地域住民の交流の場とする。

日吉小学校５年生を対象に「里山体験学習」を企画し、自然観察・森林の管理の体験を通じ、青少年の育成指導に努める。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

中山道周辺施設である天狗塚・弁財天の池の整備・天神窯東屋のＰＲを実施し、誘客を図る。

また、天神窯春まつり・日吉町夏祭り・農園での体験事業では、町民のふれあいの場となるように各地区のまちづくり推進委員や町内の各種団体との連携を図る。

日吉小学校５年生を対象に「里山体験学習」を行い、自然観察・里山体験を通じて青少年の育成指導に努める。

天神窯春まつり	参加者数	８００人
中山道周辺整備	参加者数	６０人
天神窯周辺整備	参加者数	１００人
日吉町夏祭り	参加者数	８００人
農園事業	参加者数	２５０人
里山体験学習	参加者数	３０人

４　事業に要する経費（総事業費）

405,000　　円

５　交付金申請額

200,000　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

日吉町活性化事業

２　活動報告（活動内容等）

日吉町北野にある学習工房「天神窯」周辺には、中山道（琵琶峠）や天狗塚、マレットゴルフ場などの自然景観、体験型があり、観光拠点であります。この拠点施設である天神窯では、恒例の「天神窯春まつり」を開催し、町内外より多くの観光客を誘客しました。

バーベキュー施設の利用者も多く、天神窯東屋のバーベキューエリアや天狗塚登山道の草刈りなどの整備を実施しました。また、小学５年生対象の出前講座や里山体験学習を行い、自然観察・森林の管理の体験を通じた青少年の育成に努めました。

ＪＡとうと日吉支店・日吉幼児園・日吉小学校ＰＴＡとの合同事業でもある農園（にじいろファーム）さつまいもの植付け、収穫体験。天神窯春まつり、日吉町夏祭り、日吉町文化祭などでは、多くの小中学生ボランティアが参加し、幅広い年齢層の町民がふれあう場となりました。

初めての取り組みとして、日本ガイシが整備を進める「みんなの森みずなみ」でしいたけ植菌体験会が行われ、まちづくりとして植菌指導し、交流を深めました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

天神窯春まつり	参加人数＝800人	（400人）	（　　）目標数
中山道周辺整備	参加人数＝ 60人	（60人）	
天神窯周辺整備	参加人数＝ 80人	（100人）	
日吉町夏まつり	参加人数＝800人	（800人）	
農園事業	参加人数＝400人	（250人）	
里山体験学習	参加人数＝ 36人	小学5年生ほか（50人）	

４　事業に要した経費（総事業費）

329,262　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

181,400　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	東屋の管理（通年） 天神窯環境整備 天神窯春まつり開催	消耗品費 食料費 保険料	133,654 49,618 2,482
５月	さつまいも苗植え、管理（通年） 里山体験学習	消耗品費 備品費 消耗品費 使用料等	10,000 4,598 2,946 31,735
６月	中山道周辺整備（草刈等）		
７月			
８月	日吉町夏祭り開催	消耗品費 食料費 通信費等	34,539 28,220 6,657
９月			
１０月	中山道環境整備（草刈） 農園収穫祭	光熱水費 通信費等	2,500 2,100
１１月	天狗塚登山道環境整備	食料費 通信費等 光熱水費	3,751 2,090 4,800
１２月			
１月			
２月			
３月	日本ガイシと交流会	消耗品費 光熱水費	7,500 2,072
合計			329,262

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	200,000	181,400	
自主財源	205,000	44,290	
その他（イベント売上・利用料）		103,572	
合　　計	405,000	329,262	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
天神窯活性化経費	天神窯春まつり	消耗品費	220,000	133,654	
		食料費	0	49,618	
		保険料	0	2,482	
	天神窯周辺整備	光熱水費	10,000	0	
		消耗品費	10,000	0	
		小計	240,000	185,754	
中山道整備事業経費	天狗塚登山道・中山道環境整備	消耗品費	10,000	0	
		光熱水費	5,000	4,800	
		原材料費	20,000	0	
	里山体験学習	食料費	5,000	3,751	
		通信費等	0	2,090	
		使用料等	30,000	31,735	
		消耗品費	0	2,946	
		小計	70,000	45,322	
夏まつり事業経費	日吉町夏祭り	消耗品費	30,000	34,539	
		食料費	30,000	28,220	
		通信費等	0	6,657	
		小計	60,000	69,416	
農園事業経費	さつまいも畑	光熱水費	20,000	2,500	
		消耗品費	10,000	10,000	
		備品費	0	4,598	
		通信費等		2,100	
		小計	30,000	19,198	
姫街道事業経費	ＰＲ活動費	旅費	2,500	0	
	輿及び衣装の管理	消耗品費	2,500	0	
		小計	5,000	0	
日本ガイシ交流会	植菌体験	消耗品費	0	7,500	
		光熱水費	0	2,072	
		小計	0	9,572	
合　　計			405,000	329,262	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

日吉町まちづくり便り、ホームページ、インスタグラムを通じて、行事やまちづくり活動の事前告知、事後報告を町内外の方々に発信していく。 町内設置の「お知らせ看板」を利用した行事のＰＲに努める。 年々増加している空き家対策として、日吉町と移住者の架け橋になれるよう活動していき『空き家対策委員会』と『いい移住委員会』が連携を取り、空き家バンクへの登録推進を促す。移住定住人口増への働きかけや空き家相談など行い、町内外に向けてのリーフレットを年５回発行する。また、まちづくりが窓口となり、移住後の相談、アドバイス等を行い、区長会との連携のもと、わかりやすく情報を整理し、地域住民が快適に暮らせるまちづくりを目指す。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

年６回、「日吉町まちづくり便り」をフルカラー印刷で発行し、全戸に配布する。見やすく分かりやすい紙面を目指す。 また、ホームページやＳＮＳで日吉の魅力を発信し町内外に日吉をアピールし、ＩターンＵターンなどにつなげる。行事などの告知や報告もインスタグラムなどを活用して行う。 ホームページアクセス数　　１日　２００人 インスタグラムフォロワー数　　４５０人 移住件数　　３件/年

４　事業に要する経費（総事業費）

355,000　　円

５　交付金申請額

320,000　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　活動報告（活動内容等）

まちづくり便りを年６回全カラー刷りし全戸配布しました。地域と密着した情報やテーマをより多く掲載し、身近な情報誌として発行できました。
「まちづくりホームページ」を見やすく活用しやすいものにするようこころがけました。またインスタグラムでも最新情報を発信し、町内外の方が様々なツールで日吉町の情報を入手できるようにしました。
また、町内３箇所に設置してあるお知らせ看板を活用し、町内の行事を広くＰＲすることができました。
いい移住委員会では、５月に空き家情報募集のチラシを全戸配布し、情報提供をいただけることが増えました。１１月には移住者交流会を開催し、移住者９家族を含む、総勢４１名で交流ができました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

情報誌「まちづくり便り」：６回発行
まちづくりホームページ：年間アクセス数　88,284人
インスタグラム　　：フォロワー数　　470人
お知らせ看板：町内行事のＰＲを行いました

４　事業に要した経費（総事業費）

374,048　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

320,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	ホームページ・インスタグラム更新（通年 おしらせ看板（通年） いい移住委員会		
５月	まちづくり便り１０１号発行 いい移住委員会・広報委員会	印刷費 食料費	29,880 1,737
６月			
７月	まちづくり便り１０２号発行 空き家募集チラシ発行 いい移住委員会・広報委員会	印刷費 印刷費 食料費	29,880 4,219 1,382
８月	ボランティアポイント いい移住委員会	報償費	10,000
９月	まちづくり便り１０３号発行 いい移住・広報委員会	印刷費 消耗品費	29,880 3,630
１０月	移住交流会イベント いい移住委員会	食料費	1,490
１１月	まちづくり便り１０４号発行 移住者交流会 いい移住委員会・広報委員会	印刷費 食料費 使用料等 食料費	28,800 35,695 72,600 1,415
１２月			
１月	まちづくり便り１０５号発行 広報委員会	印刷費 食料費	28,800 1,490
２月	いい移住委員会 ホームページ管理料	使用料等 手数料等	63,580 770
３月	まちづくり便り１０６号発行 広報委員会	印刷費	28,800
合計			374,048

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	320,000	320,000	
自主財源	35,000	48	
その他（　イベント売上　）		54,000	
合　　計	355,000	374,048	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
まちづくり便り印刷経費	日吉町まちづくり便り等の発行	印刷費	176,000	176,040	
		消耗品費	15,000	3,630	
		備品費	10,000	0	
		小計	201,000	179,670	
ホームページ維持・管理経費	ホームページ維持費	使用料等	64,000	63,580	
		手数料等	0	770	
	PR用デザイン	報償費	20,000	0	
		小計	84,000	64,350	
空き家対策・いい移住委員会	リーフレット発行	印刷費	50,000	4,219	
	会議費	食料費	20,000	7,514	
	移住者交流会	食料費		35,695	
		使用料等		72,600	
		小計	70,000	120,028	
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾎﾟｲﾝﾄ	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾎﾟｲﾝﾄ	報償費		10,000	
		小計		10,000	
合　　計			355,000	374,048	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

教育文化事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

将来のまちづくりの担い手である青少年の活動支援を行う。中山道往来や木かげ教室などの集いの場を提供すると共に、地域長寿会・小学校・幼児園の協力を得て町民の花壇づくりによる環境整備事業を実施する。 文化財保存会を中心に、町内文化財の保護及び保全活動の実施をするほか、地域に残る古い文献を読める人材を育成するために古文書教室を開催する。 日吉小コミュニティ・スクールに協力してあいさつ運動ののぼり旗を作製、青色回転灯防犯パトロール及び「下校時のバス待ち児童見守り」を行う。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

次のとおり三部会に分け事業を展開する。 教育部会 ・ふるさとの歴史、文化を学ぶ「中山道往来」への参加 ・日吉町あいさつ運動、「子どもサミット」を開催する 青少年部会 ・木かげ教室、公民館で遊ぼう、百人一首大会の開催 ・町内一斉缶拾い、地域長寿会との花壇づくりを通じ地域の環境美化を推進する 民生部会 ・青色回転灯防犯パトロールを実施する。　　参加者数　１００名（合計数）

４　事業に要する経費（総事業費）

255,000　　円

５　交付金申請額

190,000　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

教育文化事業

２　活動報告（活動内容等）

将来のまちづくりの担い手である青少年の活動支援を実施しました。日吉てらこや、木かげ教室の支援をする共に、地域長寿会、小学校、幼児園の協力を得て花いっぱい運動を行い、６月にマリーゴールド・バーベナ・ニチニチソウを町内施設及び希望者に配布しました。また、町内文化財の保護及び保全活動として９月に弁財天池の外来種駆除及び草刈りを実施しました。１２月には町内一斉缶拾いを開催し町内の美化に努めました。

中山道往来は今回で最後の開催でしたが、悪天候のため中止となりました。釜戸町まちづくり推進協議会主催の中学生との交流会へ参加（テーマ・ロッククライミング体験学習に参加しました。

地域の安全・安心を守るためを青色回転灯防犯パトロールと「下校時のバス待ち児童の見守り」を併せて実施しました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

青色回転灯防犯 各種行事参加者	パトロール参加者＝73人（100人） 中山道往来　悪天候のため中止 花壇づくりによる環境美化＝250人 町内一斉空き缶拾い＝600人	（　　）目標数

４　事業に要した経費（総事業費）

122,260　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

92,400　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	防犯パトロール(青パト）の実施（通年） 古文書初心者教室（通年）	通信費等 印刷費	4,200 1,830
５月			
６月	てらこや支援 花壇づくりによる環境美化(花苗代)	消耗品費 消耗品費 手数料等	9,814 85,646 770
７月			
８月	木かげ教室支援	消耗品費	20,000
９月			
１０月			
１１月	中学生との交流会への参加 （釜戸町まちづくり推進協議会主催）		
１２月	町内一斉空缶拾い		
１月			
２月			
３月			
合計			122,260

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	190,000	92,400	
自主財源	65,000	29,860	
その他（　　）			
合　　計	255,000	122,260	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
教育部会 事業経費	中山道往来への参加	印刷費	5,000	0	
		消耗品費	5,000	0	
		食料費	15,000	0	
	あいさつ運動	消耗品費	60,000	0	
		小計	85,000	0	
青少年部会 事業経費	各種団体支援	消耗品費	30,000	29,814	
	花壇苗配布	消耗品費	120,000	85,646	
		手数料等		770	
	公民館で遊ぼう、百人一首大会等の開催	消耗品費	10,000	0	
		小計	160,000	116,230	
民生部会 事業経費	青パト実施	通信費等	5,000	4,200	
		小計	5,000	4,200	
文化財事業	古文書教室	印刷費	2,500	1,830	
	文化財保全活動	消耗品費	2,500	0	
		小計	5,000	1,830	
合　　計			255,000	122,260	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区

事業番号　1

事業名　特産品開発 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	ほだ木の確保600本 椎茸収穫量350kg 加工商品化30kg ふるさと納税返礼品 10件	1
		実績値	ほだ木の確保 中止(H21年～累計数5,800本) 椎茸生産実績＝304kg(生) 椎茸加工実績＝24kg 加工所一般利用＝28件 きなあた売上＝269,990円 その他売上＝137,880円 ふるさと納税返礼品 0件	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	日吉町農産加工所の有効活用。しいたけ以外の粉末化した加工品の用途研究及び新たな特産品が必要である。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				20
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		しいたけの原木栽培は17年目を迎え、きなぁた瑞浪へ出荷、まちづくりのイベントや日吉公民館主催の「軽トラ市」への出店を通じ、日吉町の特産品としてPRすることができた。購入者に満足していただけるよう、品質のよい商品の出荷に努めた。植菌は実施出来なかったが、今後の生産安定化のためにも継続的にほだ木(原木)を確保する必要がある。 開所13年が経過した『天狗の台所』の移転をステップアップ事業を活用し、リニューアルオープンした。また中部大学との域学連携では、しいたけやその他の農産物を使用した『ふりかけレシピコンテスト』を開催、栄養面も考えられた学生さんのレシピも参考にしながら、今後の特産品開発に取り組んでいく。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉 地区

事業番号　2

事業名　日吉町活性化 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	天神窯春まつり 参加者数 800名 中山道周辺整備 参加者数 60名 天神窯周辺整備 参加者数 100名 日吉町夏祭り 参加数 800名 農園事業 参加者数 250名 里山体験学習 参加者数 30人	4
		実績値	天神窯春まつり 参加者数 800名 中山道周辺整備 参加者数 60名 天神窯周辺整備 参加者数 80名 日吉町夏まつり 参加者数 800名 農園事業 参加者数 400名 里山体験学習 36名 日本ガイシ植菌体験会 38名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解消	課題の内容	天神窯周辺施設(マレットゴルフ場、天神窯東屋、天狗塚)を活用したエリアの活性化。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		天神窯春まつりや日吉町夏祭りには多くの方の参加がありました。JAとうと日吉支店、日吉幼児園、日吉小学校PTAとの合同事業(にじいろファーム)でのさつまいもの植付けや収穫体験では、幅広い年齢層の町民が参加し、ふれあいの場となった。 天狗塚で開催した小学5年生対象の里山体験学習は、自然観察、森林の管理を学ぶ場となっている。 初めての取り組みとして、日本ガイシが整備を進める「みんなの森みずなみ」で行ったしいたけの植菌体験会に、まちづくりとして植菌指導をし、交流を深めた。	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	日吉 地区
事業番号	3
事業名	まちづくり情報発信 事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	まちづくり便り 年6回発行（全カラー刷り）、ホームページの充実とメンテナンス、インスタグラムでの情報発信 ホームページアクセス数 1日 200人、インスタグラムフォロワー数 450人、移住者 3件／年	4
		実績値	まちづくり便り 年6回発行 ホームページ 年間アクセス数 88，284人（R5年 48,591人）1日242人 インスタグラム フォロワー数 470人（R5年 374人） 移住者 0件／年	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	年々増加している空き家対策として、いい移住委員会、空き家対策委員会と連携して空き家バンクへの登録推進を目指す。	4
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった。 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				23

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	情報発信ツールとして定着したまちづくり便りは、地域と密着した情報やテーマを掲載し、身近な情報誌として発行できた。 町内3箇所に設置してあるお知らせ看板を活用し町内の行事を広くPRすることができた。 ホームページやインスタグラムなどのSNSを活用し、積極的に町内外へ日吉町のPRができた。 いい移住委員会、空き家対策委員会、区長会が連携し空き家の情報提供の呼びかけをしたほか、空き家バンクへの登録を促すためのチラシを発行した。11月には移住者交流会を開催し、移住者9家族を含む総勢41名で交流ができた。 今後もこれらの活動を継続していく。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	日吉 地区
事業番号	4
事業名	教育文化 事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	青色回転灯防犯パトロール 参加者総数 100名	3
		実績値	青パト 73名 中山道往来 悪天候のため中止 町内一斉空缶拾い 600名 花壇づくりによる環境美化 250名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	将来のまちづくりの担い手である青少年の活動支援を行う	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22
今後の事業展開の方向性		1 拡充 2 (継続) 3 終了 4 廃止		
意見・感想など		青色回転灯防犯パトロールでは、巡回による地域の安全と安心を守る活動のほか、住民の方の協力を得て「下校時のバス待ち児童の見守り」を実施した。 日吉町内を花で彩るため、幼児園、小学校をはじめ多くの町民に花の苗を配布した。 町内文化財の保護、保全活動として9月に弁財天の池の外来種駆除、草刈りを実施した。また地域に残る古い文献を読める人材を育成するために古文書教室を開催した。		

特産品開発事業



日吉町ふりかけレシピコンテスト
（令和６年１２月）



日吉農産加工所「天狗の台所」移転
（令和７年２月）





しいたけ収穫
（春・秋）



しいたけ圃場管理
（通年）





特産品開発（天狗の台所利用）
（通年）



乾燥しいたけ販売、ふるさと納税返礼品
（通年）

日吉町活性化事業



天神窯春まつり
（令和６年４月）



にじいろファーム ～植え付け～
（令和６年５月）



里山体験学習及び事前学習
（令和６年５月@小学校・天狗塚）



日吉町夏祭り
（令和６年８月）



東海自然歩道草刈り
（令和６年６月・１０月）



にじいろファーム ～収穫祭
（令和６年１０月）

まちづくり情報発信事業



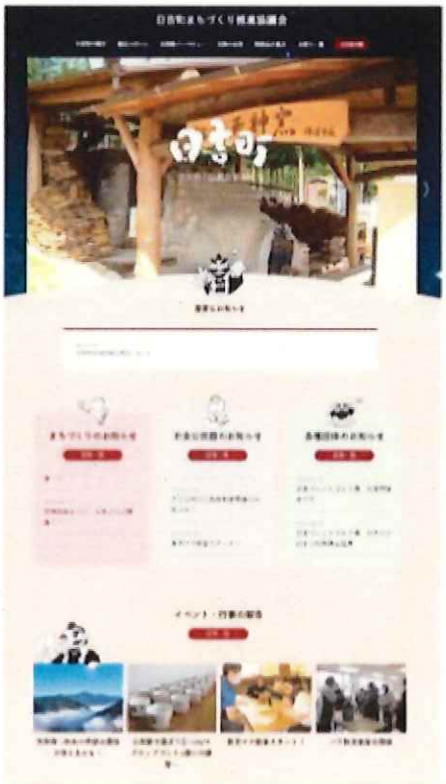
まちづくり便り発行（１０１号～１０６号）
（奇数月１日）



インスタグラム更新
（通年）



いい移住委員会
（年１０回開催）



ホームページ更新
（通年）



いい移住委員会『移住者ミーティング２０２４』
参加者４１名（移住者２１名、まちづくり関係者２０名）
（令和6年１１月）

教育文化事業



花いっぱい運動（@常栖区）
（令和６年６月）



花いっぱい運動（@日吉幼児園）
（令和６年６月）



弁財天の池清掃及び外来種駆除
（令和６年９月）



日吉てらこや
（夏休み・春休み期間中）



青色回転灯パトロール及びバス待ち児童見守り
（令和６年４月～令和７年３月 全３０回）



古文書教室
（毎月第４土曜日＊１月を除く）